

会議の名称 令和5年1月定例教育委員会
日 時 令和5年1月5日（木）
午前9時から午前11時まで
場 所 会議室棟2階 会議室H

出席者

教育長	大澤孝明
委員	安藤京子
委員	細川修
委員	川上雅也
委員	宗絵美子
事務局	
教育部長	浦川正
教育部次長	川本保則
教育総務課長	貝沼圭子
教育総務課指導室長	大井雅夫
生涯学習課長	粕谷庸介
生涯学習課文化の家館長	粂山勝人
生涯学習課課長補佐 （スポーツ担当）	山田克仁
中央図書館長	二之部香奈子
給食センター所長	加藤哲
みどりの推進課長	山本一裕
みどりの推進課主幹 （平成こども塾担当）	青山均
教育総務課課長補佐兼施設係長	大橋勝芳
教育総務課庶務教育係長	宇井正幸

傍聴者

1人

会議の公開・非公開

一部非公開

審議の概要

1 決定承認事項

なし

2 報告事項

(1) 後援・推薦名義専決処分の報告

(2) 教育委員会及び関係各課からの報告

3 決定承認及び報告事項【非公開】

- (1) 学区外就学許可の認定
- (2) 就学援助認定者数報告

4 その他

議事録署名者

宗委員

議事録

教育長

令和5年1月定例教育委員会を始めます。

明日は小中学校の始業式です。子どもたちの元気な姿が見られると良いなと思います。

現在、教育委員会では業務を改善し、効率化を求めて長時間労働をなくし、誰もが働きやすい労働環境の整備に取り組んでいます。その取組の中で感じるのは、教員一人一人がやりがいをもって主体的に働ける環境をつくるのが真の働き方改革だと思います。教員に働きがいを持ってもらい、学校現場や子ども達に還元できるように取り組んでいきたいと思います。今年度は、残り3学期のみとなりましたが、改善は、少しずつでも進めていきたいと思います。

本日の議事録署名者は、宗委員となります。

それでは、議題に沿って議事を進行します。

今回決定承認事項はありませんので、報告事項に移ります。後援・推薦名義専決処分の報告について教育総務課から説明をお願いします。

(資料1に沿って説明)

委員から特に意見なし

教育長

続いて教育委員会及び関係各課からの報告です。生涯学習課から説明をお願いします。

(資料2に沿って説明)

委員

先日、文化の家で公演中に携帯の着信音が何度か鳴ることがありました。開演前に着信音を消すようお願いしていますが、幕間に再度お願いするとよいと思います。

事務局

休憩中に再度お願いしていますが、その後も鳴っていました。おそらく御自身で音を消す方法が分からなかったのかもしれませんが。

- 委員 愛知県立芸術大学生が郷土資料室特別展のチラシを作成しましたが、こうした連携を大事にして、今後も続けてほしいと思います。
- 委員 今年のNHKの大河で「どうする家康」が放送予定であり、日進市が岩崎城でイベントを行うなど、この地域全体が盛り上がっていますので、これを契機に歴史に関する事業に取り組んでほしいと思います。
- 委員 スポーツ推進委員定例会では、どのような議題が挙がっていますか。
- 事務局 前回の定例会では、ニュースポーツフェスティバルの反省や愛知駅伝の応援について協議しました。そのほかには、ニュースポーツの普及方法について協議したり、研修などを行い自己研鑽を積んでいます。
- 委員 ニュースポーツフェスティバルの反省では、どのような意見がありましたか。
- 事務局 子どもには少し難しい競技があったとか、募集方法の改善などについて意見がありました。
- 委員 スポーツ推進委員が地域でラジオ体操をするなど、地域で活動してもらうことは可能ですか。
- 事務局 もちろん可能です。今後はもっと地域で活動していけると良いと思います。
- 委員 どのようにスポーツ推進委員に働きかけすればよろしいですか。
- 事務局 杵ヶ池体育館の事務局に連絡をいただければ、スポーツ推進委員に伝えます。
- 委員 スポーツ推進委員の日々の活動が、もっと市民に周知できると良いと思います。
- 事務局 それぞれの小学校区に校区体育委員がいますので、地域と連携するのであれば、校区体育委員の方が良いのかもしれません。スポーツ推進委員は、市全体で活動するような立場となります。
- 委員 市民には、それぞれの委員の活動内容や立場が分からないと思います。
- 教育長 次回の定例教育委員会で、それぞれの委員の活動内容について報告をお願いします。
- 委員 ジブリパークが開園しましたが、リピーターが増えるのか少し疑問があります。何か生涯学習で連携できるとよいと思います。
- 教育長 続きまして、平成こども塾から説明をお願いします。

(資料3に沿って説明)

- 委員 先日、テレビ番組で神奈川県川崎市にある「どろんこパーク」の特集が放送されていました。今後、長久手市のプレーパークや平成こども塾のコンセプトをどこに置くのかということを考えさせられま

した。このままプログラムを主体としていくのか、いわゆるサードプレイス（第3の居場所）として位置づけるのか、平成こども塾の今後の方向性を検討する必要があるのだと思いました。その番組の内容はとても感動的で、不登校の子などが活動していますが、サードプレイスのような居場所が長久手の子どもにも必要なのだと思います。

事務局 私も同番組を見ましたが、子ども達がのびのびと活動している様子が映像からも分かりました。今後の平成こども塾の方向性としては、現在のプログラムを主体とした取組を進めていくことになるかと思います。市主体ではプレーパークはできないものと考えており、協力したいと言っている人がいますので、その人や地域の人を中心に取組んでいきたいと思っています。

教育長 平成こども塾が実施している学校連携プログラムは、学校ではできない内容となっています。こうした平成こども塾の活動を、もっと市民に知ってもらえるように周知できると良いと思います。

委員 1月に予定されていた食のプログラムが中止となっていますが、新型コロナウイルス感染症の影響ですか。

事務局 新型コロナウイルス感染症対策をしながら、できる限り食のプログラムを実施したいと考えていますが、豆腐作りのように、個人ごとに作ることが難しいものはやむを得ず中止としました。

委員 おこしものは実施しますか。

事務局 作業工程を工夫して、実施予定です。

委員 新型コロナウイルス感染症は拡大していますが、現在の情勢では、積極的に事業を実施しようという流れになっています。マスクや手袋をするなど、やり方を工夫すれば実施できると思います。子ども達にはこのような体験ができる機会が少なく、平成こども塾でのプログラムは貴重な体験ですので、感染症対策をしっかりとし、ぜひ実施してほしいと思います。

委員 12月の学校連携プログラムにモルックというニュースポーツがありますが、生涯学習課と連携していますか。

事務局 今のところ連携していません。昨年度伐採した木の枝を活用して道具を作り、今回初めて実施しましたが、とても盛り上がりました。また機会を見つけて実施していきたいと考えています。

教育長 続きまして、中央図書館から説明をお願いします。

（資料4に沿って説明）

委員 地域の人から年末年始こそ中央図書館が開館していたら良いなどの声がありました。

委員 おはなし会で「まほうのたまご」というグループが9月から活動し

- て3か月经ちましたが、評判はどうですか。
- 事務局 乳幼児向けの読み聞かせですが、他の団体と違うやり方をしており、とても個性があり、長く活動してほしいと思います。
- 委員 地域共生ステーションへの団体貸出の取組がとても良いと思います。選書も地域共生ステーションの職員がしたということなので、地域の人から本の内容について聞かれたときに説明できると思います。図書館に行かない人も地域共生ステーションをきっかけとして読書が広がっていくと良いと思います。
- 事務局 今回初めての取組となりますが、地域共生ステーションの職員が熱心に選書され、次回のテーマ探しもしながら選んでいました。
- 委員 読み聞かせは、癒やしや子育て支援などの側面もあると思います。おはなし会の団体が成長してきたら、地域共生ステーションで読み聞かせを開催してみたらどうでしょうか。活動している団体の活力にもなると思います。図書館の企画や取組はポイントを捉えていてとても良いと思いますので、地域の中で事業を行えばもっと図書館のファンが増えますし、図書館からいろいろな取組が広がっていったら良いと思います。
- 事務局 現在、第3次子ども読書活動推進計画を策定中ですので、その中でもいろいろと考えていきたいと思っています。
- 教育長 中学校の職場体験は、市内の全中学校の受入れをしていますか。また、何人ほど受入れていますか。
- 事務局 市内の全中学校の生徒を受け入れており、一つの学校から4人ほどです。
- 委員 先日開催された折り紙教室は、発想力や想像力につながりますので、ぜひ続けてほしいと思います。
- 教育長 続きまして、給食センターから説明をお願いします。

(資料5に沿って説明)

- 委員 1月もとても良い献立となっており、子どもたちも給食が待ち遠しいと思います。餅の誤えんに関するニュースが今年もあり、給食ではどうするのか心配していましたが、米粉団子にしており配慮がなされていてとても良いと思います。保育園の献立も、食育につながるようなものになっていると思います。一つ提案したいのは、保育園児はアレルギーの子どもも多いので、カレーはアレルギー対応のものに変更していただくと、みんな同じものを食べることができ、保育士も安心して提供できると思います。
- 事務局 カレーの日は除去食の対応をしていますが、委員がおっしゃるように、みんな同じものが食べられる喜びもあると思います。栄養士とも相談して検討したいと思っています。

委員 製造メーカーもいろいろな製品を開発しています。保育士の負担も軽減されますので、作る側だけではなく、提供する側も考慮して検討していただければと思います。

教育長 続きまして、教育総務課から説明をお願いします。

(資料 6 に沿って説明)

委員 年末に文部科学省から、発達障害の可能性のある子の 1 学級に占める割合が上昇したとの結果が発表されました。これは、障害の認知が広まったという見方もあります。現在、特別支援学級や通級指導教室で対応しているかと思いますが、教員の専門的な研修も必要だと感じます。また、教員を孤立させないということも必要です。特別支援学級の担任は、通常学級の担任と比べて孤立感を感じやすいと思いますので、フォローが必要だと思います。

教育長 他に御意見等なければ、これ以降の内容は非公開としてよろしいですか。

委員 (異議なし)

教育長 それでは、公開部分の教育委員会を終わります。